

蛍光灯ガーデンライト

取扱説明書

品番 TNTCP28BL

NU02-17 OR



- ご使用前にこの取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。
- 器具の取付工事は、必ず工事店・電器店(有資格者)に依頼してください。
- 一般の方の電気工事は、法律で禁止されています。
- ご使用後廃棄される場合は、清掃回収者への安全面に十分配慮して処理してください。
- 工事店様・電器店様へ…工事終了後、この取扱説明書はお客様に必ずお渡しください。

保存用

■取付前に必ず確認してください

⚠ 警告

- 異常な振動や衝撃、腐食性ガスや可燃性ガス、粉じんの影響の受ける場所では使用できません。
→火災・感電・落下・錆びの原因になります。
- サウナ風呂等の高温場所では使用できません。
→火災・焼損・やけどの原因になります。
- 指定のランプ以外は使用しないでください。
→焼損・過熱・変色の原因になります。
- 器具やランプを布や紙等でおおって使用しないでください。
→火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。
- 器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。
→感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。
- ランプ外管が割れた場合は絶対に点灯しないでください。
→感電の原因になります。
- 電源の接続は取扱説明書に従って確実に行ってください。
→接続が不完全な場合、故障の原因になります。
- 器具の取付けは器具重量に耐える場所に取扱説明書に従って確実に行ってください。
→取付けに不備があると落下・けがの原因になります。
- アース端子(線)が付いている器具は必ず電気設備の技術基準に従って、接地(アース)工事を行なってください。
→接地工事が不完全な場合、感電・絶縁不良の原因になります。

⚠ 注意

- 白熱灯用調光器(コントローラ)は使用できません。
→器具や調光器の焼損・過熱・故障の原因になります。
- 寒暖の差の激しい場所では使用しないでください。
→感電・絶縁不良・ランプ破損・器具内部の結露の原因になります。
- 点灯中及び消灯直後は器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。
→やけどの原因になります。
- 器具の定格電圧と電源電圧を必ず確認してください。
→間違って器具に過電圧を加えた場合、ランプや安定器等の短寿命及び火災・過熱の原因になります。
- 器具に注意シールが貼り付けられている場合はその指示に従ってください。
→守っていただかないと火災・感電・落下・けが・故障の原因になります。
- 器具の近くや電波状況の弱い場所では音響製品に雑音に入る場合があります。
→器具と音響製品を離してご使用ください。
- 器具の近くでリモコン(コントローラ)を操作した場合、誤動作することがあります。
→器具とコントローラ受信部を離してご使用ください。
- スイッチの取付工事は電源側を切るように結線してください。
→逆にしますと感電・事故の原因になります。
- ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。
→ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

この取扱説明書のマークについて SAFETY INFORMATION

警告 説明書中の「警告」は人身事故の原因になる危険を示します。

WARNING A WARNING IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN CAUSE INJURY OR DEATH.

注意 説明書中の「注意」は器具破損の原因になる危険を示します。

CAUTION A CAUTION IN THE MANUAL DENOTES A HAZARD THAT CAN DAMAGE EQUIPMENT.



このマークのついている説明文
は必ず守ってください。
KEEP THE NOTICE WITH THIS
MARK.



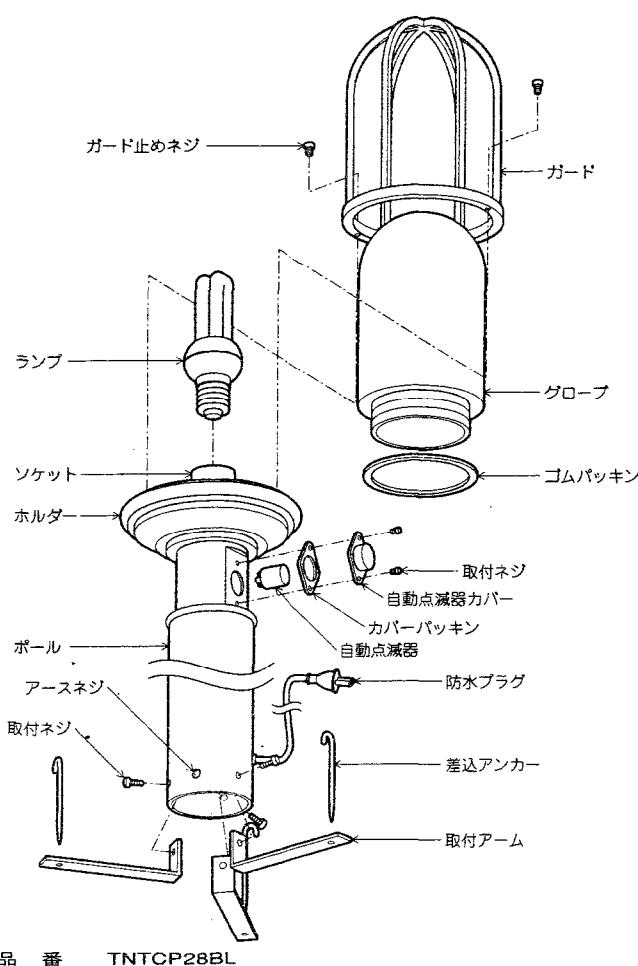
このマークのついている説明文
は特に注意してください。
BE CAREFUL THE NOTICE WITH
THIS MARK.

裏面も必ずお読みください。

このたびはコイズミ照明器具をお買上いただきましてまことにありがとうございます。

■各部の名称 (この図は一部抽象化した共通部品図です。)

△部品の有無・損傷を確認し、不備の際は取付けないでください。



■取付けの際に特に守ってください

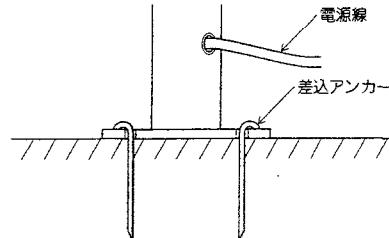
△電気工事

○素人人工事は危険です。工事店・電器店へ依頼してください。一般の方の電気工事は法律で禁止されています。

△ポールの取付け

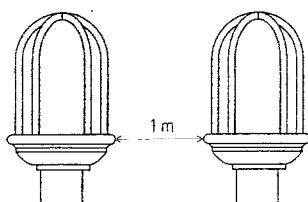
- ・ポールの設置場所にゲージ(ピッチゲージ)で差込アンカーの位置を決めてください。
- ・差込アンカーは土壤のしっかりした所へ設置してください。砂地等の土質の軟らかい場所に設置する場合は、コンクリート等で差込アンカーの埋込部を固定してください。

配線工事は必ず第三種接地工事を施してください。



△自動点滅器取付けのご注意

自動点滅器は、点滅器カバーの向きが他の光源(白熱灯100W以下)の影響の少ない方向になるように、本体から1m以上離して取付けてください。

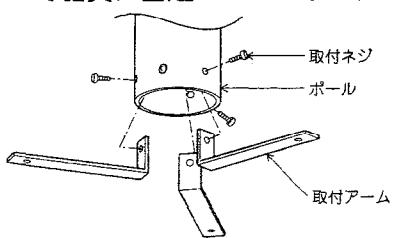


■取付順序と操作方法

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

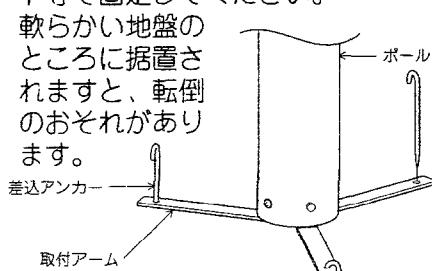
△必ず取付順序にしたがって取付けてください。取付けに不備があると落下・けが・過熱の原因になります。

- ① ポールに取付アーム3本を取付ネジで確実に固定してください。

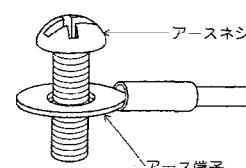


△取付ネジの締め付けが不十分の場合、ガタツキの原因になります。

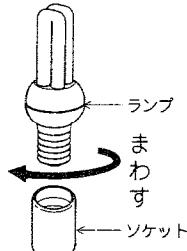
- ② 取付アームを水平な地盤の所に据置し、差込アンカーをコンクリート等で固定してください。



- ③ 必ずアースネジにアース端子を使って第三種接地工事(アース工事)を施してください。

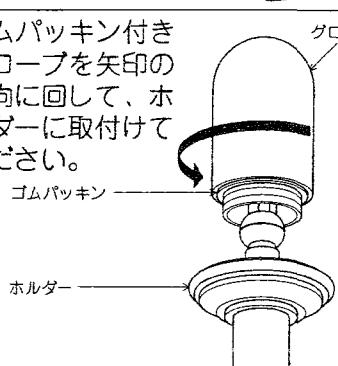


- ④ 器具の指定ランプを確認し、ソケットに取付けてください。

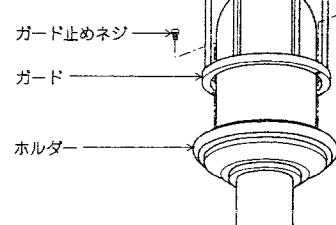


△ランプの取付けは丁寧に、確実に行ってください。
破損・落下の原因になります。

- ⑤ ゴムパッキン付きグローブを矢印の方向に回して、ホルダーに取付けてください。

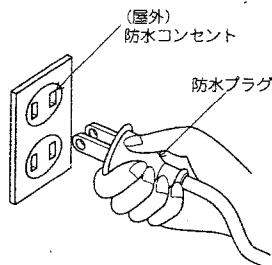


- ⑥ ガードをホルダーに合わせて、ガード止めネジで取付けてください。

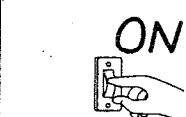


取扱説明書をよくご覧の上、正しくご使用ください。また、不明な点は必ずお問い合わせください。

- ⑦ コンセントにプラグを差し込んでください。

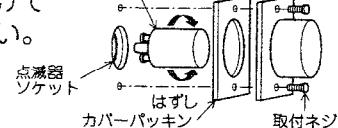


- ⑧ 電源を入れて、点灯を確かめてください。



△点灯状態がおかしいときはすぐに工事店・電器店に連絡してください。
素人工事は危険です。

- ⑨ ピスをはずして、点滅器カバーをはずしてください。自動点滅器を穴に差し込み右にひねって固定してください。自動点滅器には差し込み方向がありますのでご注意ください。カバーパッキン、点滅器カバーは必ず取付けてください。



■器具のお手入れ

○ぬれた手では絶対に行なわないでください。感電・故障の原因になります。

△必ず電源を切ってから行なってください。感電・やけどの原因になります。

△点灯中や消灯直後は器具やランプが高温のため危険です。しばらくしてから行なってください。

△安全に使用していただくために、約6ヶ月ごとに清掃・点検を行なってください。



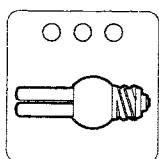
やけどの
おそれあり

点灯中や
消灯直後の
ランプに
さわるな

(1) ランプの交換方法

- ① 電源を切ってから行なってください。
- ② ガード・グローブを■取付順序の⑥⑤を参考に取外してください。
- ③ ■取付順序の④を参考にランプを交換してください。
(指定ランプは器具に表示してあるランプシールをご確認ください。)
- ④ ガード・グローブを■取付順序の⑤⑥を参考に取付けてください。

ランプシール参考例



(2) ガード・グローブのお掃除

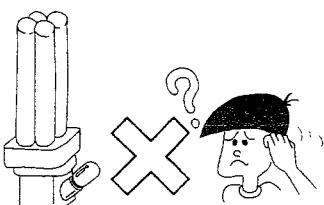
- ① 電源を切ってから行なってください。
- ② ガード・グローブを■取付順序の⑥⑤を参考に取外してください。
- ③ 取外したガード・グローブは水洗いの後よく乾かしてください。
- ④ ガード・グローブを■取付順序の⑤⑥を参考に取付けてください。

⚠ この取扱説明書はいつでもご覧いただけるように大切に保存してください。
ご使用にあたってのご注意(一部仕様の異なる器具があります。) (22)

保存用

◆品番・製造年月は器具銘板に記載されています。ランプの種類は器具のランプシールをご確認ください。交換用のランプは器具の指定のものを必ずご使用ください。

○器具を改造したり、部品を追加・変更して使用しないでください。



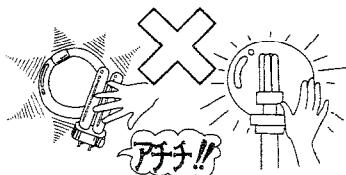
感電・落下・焼損・過熱・変色の原因になります。

○器具やランプを布や紙等でおおわないでください。
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○器具のすきまや放熱穴等に金属類を差し込まないでください。
感電・故障の原因になります。

○点灯中および消灯直後は器具やランプが高温になっていますので素手で触らないでください。

やけどの原因になります。しばらくしてから取り扱ってください。



○器具の下にストーブ等の高温のものを置かないでください。また、燃えやすいものを近づけて使用しないでください。

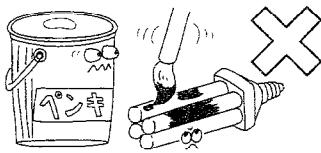
火災・焼損・過熱・故障・変形の原因になります。

○シンナーやベンジン等の揮発性のもので拭いたり、殺虫剤をかけたりしないでください。

変質・故障の原因になります。



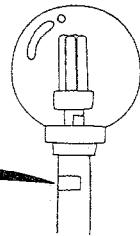
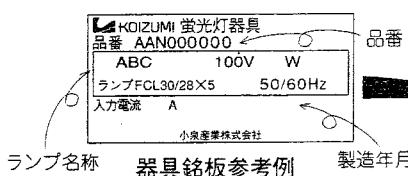
○器具やランプに着色等をしないでください。



焼損・過熱・故障の原因になります。

○器具をまるごと水洗いしないでください。
感電・焼損・故障の原因になります。

⚠ お手入れやランプ交換の時は必ず電源を切ってから行なってください。
通電のまま行なうと、感電の原因になります。



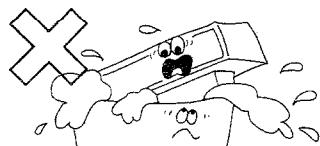
⚠ 器具から煙が出たり、変な臭いがしたときは、速やかに電源を切ってください。

放置しますと火災・落下・けがの原因になります。
工事店・電器店にご相談ください。

⚠ ランプ交換の際は、必ず器具表示および取扱説明書の指定の種類・ワット数のランプをご使用ください。
間違った場合、火災・やけど・故障・変形・変色の原因になります。

⚠ 器具の汚れは乾いた柔らかい布、または中性洗剤を浸透させた柔らかい布をよく絞ってから拭き取ってください。

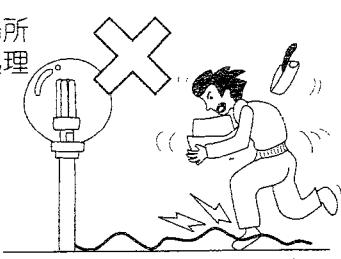
感電・焼損・故障の原因になります。



⚠ 点検・清掃時には、接合部にゆるみおよび器具やランプに損傷等がないかを確認してください。
異常がありましたら、購入店にご相談ください。

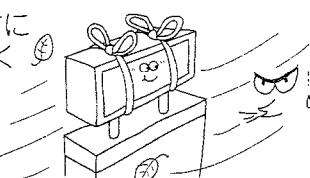
⚠ ランプの端部が黒ずんだり暗く感じたら、お早めにランプ交換を行なってください。
照度のことを考慮しますと、経済的であるといえます。

⚠ ケーブル線は人の通る場所では露出しないように処理してください。



ケーブル線を引っ掛け、絶縁不良・けが・ケーブル線の損傷の原因になります。

⚠ 台風や強風の場合、事前に器具の点検・補強をしてください。



倒壊・落下・けが・破損の原因になります。

⚠ ランプが点滅を繰り返す等、正常に点灯しない場合は、直ちに電源を切りランプを交換してください。
放置しますと、焼損・過熱・故障の原因になります。

商品のお問い合わせは………フリーダイヤル 0120-5123-02

修理・アフターサービスのお問い合わせは………(電話番号は変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。)

- 北海道サービスセンター ☎011(865) 3866
- 神奈川サービスセンター ☎0463(95) 8008
- 関西サービスセンター ☎0729(85) 5521
- 東北サービスセンター ☎022(236) 4272
- 中部サービスセンター ☎0568(75) 5931
- 岡山サービスセンター ☎086(298) 3496
- 関東サービスセンター ☎0489(28) 4381
- 北陸サービスセンター ☎076(249) 3205
- 広島サービスセンター ☎082(249) 1018
- 九州サービスセンター ☎092(622) 4010